

【社会・中1・「アジア州」】①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) アジア州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。
- (思考・判断・表現) アジア州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
- (学びに向かう力等) アジア州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

ICT活用のポイント

経験している学習スタイルを活用した視覚的情報共有を取り入れた授業

事例の概要

アジアが急速な経済成長を遂げていることを前時の振り返りで確認する。

東アジアの経済の発展と変化について考えよう

主な都市の写真を大型ディスプレイと生徒個人のICT端末に提示し、学級全体で経済の発展の様子を確認する。

【事例におけるICT活用の場面】

アジアNIESの輸出品の変化や日本との貿易の関わりから、経済発展と海外との関わりについて考察する。

自分の意見をワークシートに記入し、ワークシートをICT端末で撮影して学習支援ソフトの機能を活用して教員に提出し、全体で意見共有を図る。

地球的課題と結び付けて考察し、発表する

グラフを大型ディスプレイやICT端末に表示したり、都市に人口が集中することで起きる課題についてICT端末で調べたりして、自分の意見をまとめ、学習支援ソフトの機能を活用し共有を図る。

【社会・中1・「アジア州」②】

【事例におけるICT活用の場面】



考えを共有する場面で、生徒は、まず自分の考えをワークシートに記入し、学習支援ソフトの機能を活用して提出し共有する。今までの学習で培っている学習スタイルを活用することで、生徒は、時間的なロスなく自分の考えをまとめることができていた。1年生という発達段階も考慮して、入力ではなく写真で送信する方法を選択した。また、自分の考えを送信する作業にも個人差が生じるため、その対策として、早く送信できた生徒は他の生徒の考えを見て、よい意見を取り入れ、自分の考えを再構成しワークシートに書き、再度自分の考えとして提出してよい指示を出していた。

【事例におけるICT活用の場面】



このとき、教室の前面には大型ディスプレイに同じグラフや表が、先生のポイントが示された状態で掲示してある。

グラフや表を読み取り、考えを共有する場面で、「アジアNIESから日本への主な輸出品」のグラフや「韓国や台湾の輸出品目の移り変わり」のグラフを大型ディスプレイに映し出すとともに、生徒のICT端末にも同じグラフを送信しておくことで、生徒の思考が分断されることがなく考察をおこなうことができた。また、経済発展と都市化にともない、どのような問題が発生しているのか、ICT端末を活用して調べ、自分の考えを持ち、全体で共有、確認をおこなった。